



**【サブリーダー会議】**

- 1) ヒヤリハットの集計・分析を毎月実施し、振り返りを行うことで「気づきの力」を高め、再発防止に努めます。
- 2) サブ主催の研修会を毎月開催し、職員の介護知識・技術の向上に努めます。
- 3) 新しい新人業務チェックリストを活用し、職員の育成に努めます。

具体的行動計画											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
← 1) ヒヤリの集計を行い、原因を分析していく											
↔ 危険予知訓練研修											
← 2) 研修会の開催											
↔ 合同会議開催											
↔ 振り返り研修											

**【事故防止対策委員会】**

- 1) 毎月のヒヤリハットの集計・分析結果を検討し、再発防止を図ります。
- 2) 事故毎の防止策の実施状況を1か月・3か月後に確認し、検証していきます。

具体的行動計画											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
← 1) 前月のヒヤリハットの集計・分析結果、予防策を職員に周知。再発防止を図る。											
↔ 研修会開催											
← 2) フロア会議にて事故防止策の実施状況を確認。効果の有無により再考											
↔ 研修会開催											

**【サービスマナー委員会】**

- 1) 接客マナーに関する情報発信の機会を増やし、接客マナー向上を目指します。
- 2) 「虐待の芽チェックリスト」を用いて自己評価を実施し、個人及びフロアの課題を分析してサービスマナーの向上に努めます。

具体的行動計画											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
↔											
← 合同委員会開催 →											
1) 個人及びフロアの課題分析を行い、取り組み内容を検討し実行											
← 2) 接客マナーの基本となる「挨拶・笑顔・丁寧な言葉遣い」の徹底及び「虐待の芽チェックリスト」を用いた自己評価の実施 →											
↔						↔					
虐待の芽チェックリスト実施						虐待の芽チェックリスト実施					

**【褥瘡防止対策委員会】**

- 1) 機能訓練委員会と連携を図り、褥瘡発生数を昨年度より減少させるよう努めます。
- 2) 褥瘡予防アセスメントを活用し、褥瘡高リスク者を多職種で共有するとともに、早期予防に努めます。
- 3) ご利用者個々の排泄パターンの把握・使用物品・介助方法の見直しを行い、皮膚トラブル防止に努めます。

具体的行動計画											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
← 1) 新入所・退院者・状態変化者のアセスメントを行う →											
← 2) 皮膚トラブルの軽減を目指す →											
← 3) 排泄パターン・使用物品の把握・見直し →											

**【感染防止対策委員会】**

- 1) 感染防止のため、職員への標準予防策（手洗い）を徹底します。
- 2) 法人研修の他、サブリーダー会議と連携し施設内感染防止研修会を開催し、感染症発生時の対応方法を徹底します。
- 3) 感染症発生時は速やかに委員会を開催し、対応方法を決定して拡大防止を図ります。

具体的行動計画											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
← 1) 1介護1手洗いの標準予防策を繰り返し職員に周知。徹底を図る。 →											
↔ 2) 法人研修会開催				↔ 2) 施設内研修会開催							
← 3) 感染症発生時は速やかに委員会を開催。感染拡大を防止 →											

**【ケアプラン委員会】**

- 1) 施設サービス計画・アセスメントシートの事例検討を行い、ケアマネジメントの質の向上を目指します。
- 2) 新アセスメントシートを活用し、職員一人ひとりがご利用者の希望する生活を汲み取れるよう助言をしていきます。

具体的行動計画											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
← 1) サービス計画・アセスメントシートの事例検討を行う →											
← 2) 各フロアからの課題を分析・検討していく →											
↔ 合同開催											

**【身体拘束廃止委員会】**

- 1) 身体拘束「0」を目指します。
- 2) 委員会の取り組みをご家族に伝える機会を作り、身体拘束防止への理解を得られるよう努めます。

具体的行動計画											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
←→											
1)-1 研修会の実施		←→									
		1)-2 多職種で、個々のご利用者のケア方法を検討									
←→											
		2) リーフレットの作成									

**【口腔ケア委員会】**

- 1) 多職種会議で支援方法を評価・検討を行い、多職種で連携を図り食事支援を行います。
- 2) 歯科医師・衛生士の指導の下、口腔ケア技術の向上を目指すとともに、ご利用者の健康管理に努めます。

具体的行動計画											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
←→											
		1) 多職種会議の支援方法を評価・検討し、食事支援を行う									
←→											
		2)-1 毎月歯科医師から、口腔ケア技術のアドバイスをいただく									
		2)-2 フロアにてアドバイスの周知・実践を行う									

### 【食事委員会】

- 1) 多職種と協働し、日々の食事介助を検証するとともに研修会を開催し、個々のご利用者に合った介助方法を実践していきます。
- 2) 給食用紙に月 10 個以上コメントを記載し、ご利用者の食べる楽しみの充実を図ります。
- 3) 栄養士と協働し、おやつ作り会を開催します。

具体的行動計画											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
← 1) 多職種で食事介助の検証をしていく →											
← 2) ご利用者の好みを把握する →											
← 3) おやつ作りのサポートをしていく →											

### 【機能訓練委員会】

- 1) 褥瘡防止対策委員会と連携し、皮膚トラブルの予防に努めます。
- 2) 福祉用具の清潔保持、管理を適切に行います。

具体的行動計画											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
← 1)-1 皮膚トラブル者の座位時の体圧測定を行い、検証する →											
← 1)-2 安全な姿勢調整ができるよう、福祉用具の選択等を行う →											
← 2) 毎月の点検・清掃の実施 →											



**【リスクマネジメント委員会】**

- 1) ヒヤリハットと連動した危険予知訓練（KYT）の取り組みを継続し、職員の「気づきの力」の向上に努めます
- 2) 災害時の対応力を高めるため、福祉救済所マニュアルの整備、備蓄物品の見直しと整備を進めます。
- 3) 職場の環境、業務の手順などの点検、改善を通して腰痛予防を一層図ります。
- 4) 委員会通信「Spotlight」を発行し、委員会活動の周知を図ります。

具体的行動計画											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
←-----1)-1 ヒヤリハットと連動した危険予知訓練(KYT)の継続的实施-----→											
←-----2)-1 非常用備蓄物品の見直し整備-----→						←-----2)-2 福祉救済所マニュアルの整備-----→					
←-----3)-1 職場環境・手順等のアセスメント-----→						←-----3)-2 省力化に資する福祉機器検討-----→					
↔		↔		↔		↔		↔		↔	
4)-1 通信発行		4)-2 通信発行		4)-3 通信発行		4)-3 通信発行		4)-4 通信発行		4)-4 通信発行	



### 3. 各職域目標

#### 【事務室】

- 1) 各担当が一体となって連携し、丁寧な窓口・電話対応に努めます。
- 2) 物品の適正管理に努め、経費の削減を図ります。

具体的行動計画											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

#### 【栄養室】

- 1) ご利用者のレクリエーション・他フロア交流の場づくりとして、毎月おかし作り会を開催します。
- 2) 食事提供内容の変更に伴い、ご利用者の食事状況を確認し、食事提供内容を再検討していきます。

具体的行動計画											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

#### 【医務室】

- 1) ケアワーカーと連携・協力を密に行い、ご利用者の健康状態の把握と状態変化の早期発見に努めます。
- 2) 感染症の予防を行い、発生時は拡大防止に努めます。

具体的行動計画											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月



### 【地域連携担当】

- 1) ボランティアの方と意見交換を行い、継続して来ていただけるよう環境整備・活動のサポートをしていきます。また、新規ボランティア受け入れを積極的に行います。
- 2) フロア実習担当者と連携を図り、実習生が実習しやすい環境を整え、指導・助言をしていきます。

具体的行動計画											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
← 1) ボランティア活動のサポート・募集を行っていく →											
← 2)-1 実習担当者・担当教員と情報を共有 →											
← 2)-2 実習目標が達成できるよう支援する →											

### 【1階フロア】

- 1) 地域とのかかわりを増やし、ご利用者に楽しんでいただける機会を提供します。
- 2) グループごとに「グループ目標」を定め、サービス向上に努めます。

具体的行動計画											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
← 1)-1 地域のイベント等を掘り出していく →											
← 1)-2 ご利用者に参加していただく機会を作る →											
← 2)-1 グループ目標を定める →											
← 2)-2 グループ目標の実行 →											

**【2階フロア】**

- 1) ご利用者が、「その方らしく」快適な生活を送れるよう支援します。
- 2) 引き続きレクリエーションの充実を図り、ご利用者の楽しみを増やします。

具体的行動計画											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
← 1)-1 ご利用者のご希望に沿った身だしなみの支援 →											
← 2)-1 記録方法の確認 →						← 目標の振り返り →					
← 2)-2 遅番による施設サービス計画に則したレクの実施と記録 →											

**【3階フロア】**

- 1) 引き続き、ご利用者の意向に添った外出支援を行います。
- 2) デイルームを行事や季節に合わせて飾りつけを行い、季節を感じていただけるように工夫します。

具体的行動計画											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
← 1) ご利用者のニーズに合わせた外出支援の計画・実行 →											
← 2) ご利用者楽しんでいただける飾りを行う →											